

こもれび山の会 足立 片波川源流域の台杉群、素晴らしい

大阪府勤労者山岳連盟の仲間26名で京都国際会館よりマイクロバスで鞍馬から花背峠を走る台風の影響で北山杉も半数が倒れて無残。

花背交流の森で休み、京北町と左京区広河原の境の片波川源流域の井ノ口山へ、登山、倒木を乗り越えたり潜り抜けたりしながらも悪戦苦闘、頂上直下で「巨大台杉」を見学、幹の直径が5～7mもの台杉、自然環境保全から「縄張り」がされ近くまで入れず、残念、ここで昼ご飯お食べて頂上へ、同じ道を下山14：40、バスで移動、バスが転落しそうな怖い道进行「片波川源流域京都府自然環境保全地域」に移動し、約1時間、区域内を散策した。

一帯は古くから「古杉御料」として守られた森で人為的影響を受けながらも大切にされた、屈指の巨大杉群の森・平安京の造営やら、築城の盛んな折、台杉仕立が盛んに行われた。台杉として幹の直径6～7mの台杉が現存する、この地域・幕藩体制の解体で「御杉御料地」は民間に払い下げられ、私有地に、しかし伏条台杉は大きくなりすぎ伐裁から逃れ大木になり今に在る。源流域に何本の台杉？200本以上あるかも？樹齢は500年～1,000年台杉群・大きな杉・幹・威容に圧倒された、隣の芦生原生林に負けない素晴らしい原生林を見学、ハイクが出来感謝してしてます。有り難う

